

【研修名】第6回 対談企画 【精神療法・心理療法の工夫と楽しみ】

【内容】薬物療法や認知行動療法は大いなる工夫の一つですが、万能ではありません。昔から日本にある精神療法の蓄積と、今日発展を続けている認知行動療法の知見と、いま目の前の患者/クライアントさんの生活を、どのように混ぜ合わせて考え、活かしていけば良いのでしょうか？

今回は、日本の認知行動療法の中で、常に軸足を患者さんの生活に置くことにブレがなく、そこから地続きの臨床をされてきた精神科医の原田誠一先生と対談します。

医師と心理師それぞれの持ち味を活かしながら、どのように精神療法・心理療法を工夫して楽しんでいくか。認知行動療法が常識的な心の働きを用いて介入することが分かって頂けるものと思います。

【対談者】原田誠一（原田メンタルクリニック） & 西川公平（CBT センター）

【司会】浅野憲一（目白大学）

【日時】

（無料パート）2021/05/12(水) 18:00-20:00（無料LIVE配信）

（有料パート）2021/06/01 ~ 2021/07/31（有料録画配信）

【対象】医療、保健、福祉、産業、教育、司法の有職専門家、大学院生（認知行動療法初心者の方でも歓迎です）

【参加費】有料パート 10,000円（各種割引あり）

【会場】WEB

【主催】一般社団法人 CBT 研究所

【協賛】CBT センター

【詳細・申込】 <https://cbtcenter.jp/event/?itemid=2670>

【備考】臨床心理士ポイントを申請予定（無料パート・有料パート通しで申し込まれた方）。

【問い合わせ】 online@cbtcenter.jp

【研修名】第7回 対談企画 創立記念対談【臨床と研究の接点】

【内容】

第一部『臨床と研究がお互い役立つためには？』

第二部『研究と臨床を両立させるには？』

【日時】

第一部 Live 配信 2021年5月13日(木) 19:00-21:00

第二部 Live 配信 2021年6月18日(金) 19:00-21:00

【対談者】

第一部 澤 幸祐（専修大学人間科学部心理学科 教授） & 西川公平（CBT センター
所長、一般社団法人 CBT 研究所）

司会 二瓶 正登（日本学術振興会特別研究員）

第二部 岩佐和典（大阪府立大学人間社会システム科学研究科 准教授） & 西川公平
（CBT センター所長、一般社団法人 CBT 研究所）

司会 坂田昌嗣（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 健康増進・行動学分野助教）

【対象】医療、保健、福祉、産業、教育、司法の有職専門家、基礎心理学、臨床心理学の研究
者、大学院生

【参加費】無料

【会場】WEB

【主催】一般社団法人 CBT 研究所

【協賛】CBT センター

【詳細・申込】 <https://cbtcenter.jp/event/?itemid=2688>

【備考】臨床心理士ポイントを申請予定

【問い合わせ】 research@cbtcenter.jp

【研修名】第8回 対談企画 【「痛い！」困りごとへの心理支援】

【概要】あらゆる生物は痛みと無縁で生きられません。痛みは最も重要な内部感覚の一つで、危険を回避して備えるためのものです。とりわけ人間は、生理的／肉体的な痛みだけではなく、心理的／精神的な苦痛をも感じながら人生を歩んでいきます。人間の心は痛みによって左右され、痛みも心によって左右されると、双方向性があります。それら痛みと心の共鳴が鳴り止まなくなった「慢性疼痛」の困り事は、認知行動療法で様々な扱う事が可能です。

今回、日本で数少ない慢性疼痛への認知行動療法の専門家と「痛い」困り事を心理的に扱う方法を対談します。対談の参考資料として『慢性疼痛の認知行動療法』講義動画が300分ついています。

【視聴期間】

録画配信 2021年7月01日（木）～2021年9月30日（金）

【対談者】

- ・岩佐 和典（大阪府立大学人間社会システム科学研究科 准教授）
- ・西川 公平（CBTセンター所長、一般社団法人CBT研究所）

【内容】

対談 120分 疼痛の講義 300分

（この講義動画は、厚生労働省令和2年度慢性疼痛診療体制モデル事業『慢性痛に対する認知行動療法の実際』の一環として、2020.10/16～2021.2/19にかけて実施したウェビナーの様子を編集したものです。）

<https://kaiwasa00.wixsite.com/mysite/webiner>

【参加対象】医療、保健、福祉、産業、教育、司法の有職専門家、痛みに関わるお仕事をしている方、大学院生

【料金】 10,000円（子育て割、団体割あり）

【会場】 WEB

【主催】 一般社団法人CBT研究所

【協賛】 CBTセンター

【詳細・申込】 <https://cbtcenter.jp/event/?itemid=2694>

【備考】 臨床心理士ポイントを申請予定

【問い合わせ】 onweb@cbtcenter.jp

【研修名】第10回 対談企画 【はじめてのマインドフルネスベースドトリートメント、はじめてのコンパッションフォーカストセラピー】

【概要】認知行動療法は西洋発祥の論理・科学体系を用いて、人間の心の困りごとにアプローチするやり方であり、数々のエビデンスがあります。それらは西洋的な哲学観に基づいていると言えます。

一方で、日本や中国で馴染みの深い、東洋的な哲学観に基づく、こころの困りごとへのアプローチもあります。それらがマインドフルネスやコンパッションに基づくトリートメントです。コーヒーが好きな人もいれば、緑茶が好きな人もいるように、相手に合わせたもてなしの心があります。こころの困りごとを抱えた人々の中にも、様々な哲学感を持つ人がおり、治療者はそれらに柔軟に合わせていく必要があります。

今回は、マインドフルネスとコンパッションでご活躍の二人の先生に基本的なお話と、対談と、質疑応答を頂きます。それらを通じて、2つのアプローチが他の認知行動療法とどのように異なるのか。また2つのアプローチのどこが似ていて、どこが違うのかを感じていただければ幸いです。

【対談者】

「はじめてのマインドフルネスベースドトリートメント」

- ・伊藤義徳（琉球大学人文社会学部教授）
- ・西川公平（CBT センター所長）

「はじめてのコンパッションフォーカストセラピー」

- ・浅野憲一（目白大学心理学部専任講師）
- ・西川公平（CBT センター所長）

【配信期間】 録画配信 2021年08月01日～2021年10月31日

【対象】医療、保健、福祉、産業、教育、司法の有職専門家、大学院生（認知行動療法初心者の方でも歓迎です）

【参加費】片方参加 5,000円 両方参加 8,000円（子育て割、団体割あり）

【会場】WEB

【主催】一般社団法人 CBT 研究所

【協賛】CBT センター

【詳細・申込】 <https://cbtcenter.jp/event/?itemid=2700>

【備考】臨床心理士ポイントを申請予定

【問い合わせ】 labo@cbtcenter.jp